

Doors open 10:00

Kyoto Kanze Regular Performances 23 Sun Mar. 2025 11:00 a.m.-4:30 p.m.

京都観世会三月例会

令和7年3月23日(日) 午前11時開演 (午前10時開場)

〈能〉

Tadanori

忠 度

大江 信行

〈狂言〉

Uozekkyo

魚説経

茂山 七五三

〈能〉

Seiganji

誓願寺

河村 晴久

〈能〉

Fujito

藤 戸

古橋 正邦



TICKETS 2/110:00 発売

一般前売指定席券(1階) ¥8,500
Advance reserved seat (1st floor)

一般前売自由席券 ¥6,500
Advance non-reserved seat

一般当日券(自由席) ¥7,000
Same-day (Non-reserved seat)

学 生 券(2階自由席) ¥3,000
Student (2nd floor)

※通信講座受講生、放送大学、
老人大学は一般料金です。

WEB予約で座席指定できます。
電子チケット「チケットレスQ」も
選択できます。



チケット販売

お問合せ・お申込み
京都観世会館

Tel : 075-771-6114
<http://www.kyoto-kanze.jp>

〒606-8344

京都市左京区岡崎円勝寺町 44
(東山仁王門東入)



京都観世会館HP

Noh Play Theater
Kyoto Kanze Kaikan

会場 **京都観世会館**



地下鉄東西線「東山駅」①番出口から徒歩約5分
京都市バス「岡崎公園 美術館・平安神宮前」下車
徒歩約3分

「東山仁王門」下車徒歩約5分
東隣に有料駐車場(約20台)がございます。



日本語 Map



English Map

京都観世会三月例会

平忠度 大江信行

（能）
備有松遼一 大鼓石井景之
從僧岡 充 小鼓成田達志

里人鈴木 実
前左鴻泰弘

魚説経

出家茂山七五三

檀家茂山宗彦

休憩二十分

（二時頃）

誓願寺

和泉郡河村晴久
一逼上人殿田謙吉
從僧渡貫多聞
從僧小林 努

大鼓白坂信行 大鼓前川光長
小鼓吉阪一郎 笛杉 信太郎

休憩十五分

（仕舞）
竹生島 田茂井廣道
網之段 橋本雅夫

（三時十分頃）

藤戸

漁師古橋正邦
佐々木齋宝生欣哉
從者宝生尚哉
從者宝生朝哉

大鼓谷口正壽
小鼓曾和鼓堂
笛杉 市和

（後見）梅田嘉宏
（地謡）青木道喜
谷 弘之助 浦部幸裕
大江広祐 武田邦弘
河村和貴 片山九郎右衛門
深野貴彦 浦田保親

附祝言

（終了予定 四時半頃）

後見・地謡

（後見）大江広祐 樹下千慧 田茂井廣道
味方 玄 大江泰正 河村晴道
（地謡）橋本忠樹 浦田保浩
松野浩行 分林道治

（後見）井口竜也

（後見）林 宗一郎 寺澤拓海 味方 團
井上裕久 河村浩太郎 越賀隆之
（地謡）宮本茂樹 杉浦豊彦
吉田篤史 吉浪壽晃

（地謡）浅井風矢
橋本光史
片山伸吾
井上裕之真

解説

忠度 平忠度の和歌の師匠、藤原俊成に仕えていた者が出家し、西国へ向かう途中、須磨の浦で薪を運ぶ尉に出会い、一夜の宿を乞う。尉は忠度の和歌を引き合いに、桜の木蔭ほどの宿はないと言ふ。尉は僧に同向を頼み、さらに忠度のことなどを語る。やがて尉は忠度の霊であることを暗示して消え失せる。
（中人）里人に忠度のことを聞いた僧が回向を続けると、在りし日の姿で忠度が現れ、西国への都落ちの途中、俊成のもとへ立ち帰り、後日の勅撰集への和歌を託したこと、岡部六弥太と戦い討ち死にしたこと、死後腰の簾に着けた短冊の名から忠度と知られたことなどを語り、桜の花の蔭に消えてゆく。
「行き暮れてこの下蔭を宿とせば花や今宵の主ならまし」の忠度の歌をひき、「木蔭の旅の宿とせば花こそ主なりけれ」と終曲を迎える名曲で、世阿弥自身この能を「上花」と高く評価していた。

誓願寺 熊野詣をしてきた一遍上人は、熊野権現から御札を諸国に弘めよとの霊夢を受けて、都・誓願寺へ上つて御札を弘めていると、一人の女が現われて御札を受け、「六十万人決定往生」とあるのは往生の人数に限りがあるのかと尋ねる。一遍上人は、如来の光明は遍く照らして、済度の人数に限りはないと教える。女は喜んで、誓願寺の名号を取り返し唱え、誓願寺の額を取り除け、上人の手で南無阿弥陀仏という六字の名号をかけてほしいと頼み、和泉式部と名を明かして消える。
（中人）上人が六字の名号を書きつけ、額をかけたとき、やがて異香薫じ、花降り、音楽聞こえ、歌舞の菩薩となった和泉式部が、諸々の菩薩衆とともに姿を見せ、誓願寺の由来を語ったのち菩薩舞い、来迎した二十五菩薩も六字の名号の額を礼拝するのであった。

藤戸 佐々木盛綱は備前国藤戸の合戦での先陣の功で賜った備前の児島へ新領主として乗り込み、訴えごとがあらば申し出よと領民に触れを出した。そこへ年たけた女が来て、罪もない我が子の漁師が盛綱によつて殺されたことへの恨みを述べた。最初は語気荒く否定する盛綱も隠しきれず、去年三月二十五日、浦の男から藤戸の海を馬で渡れる浅瀬について聞いたこと、二人だけで密かに浅瀬の様子を見届けた後、他人に漏れることを恐れて男を刀で二回刺し、そのまま海へ沈めたことを打ち明けた。男を沈めた場所を教えると、老母は恨みの余り我が子を返せと激しく迫る。見るも哀れな老母の姿に盛綱は甲斐を約束し、老母を慰めて家まで送り届けさせる。
（中人）甲斐が始まり、盛綱自身も経を読むと、漁師の亡霊が水上に現れ、我が身の不運を嘆き、殺されたときの苦痛を述べる。藤戸の水底の悪竜となつて祟りをなすうともしたが、思いがけない甲斐を受けて成仏の身となったのであった。

お客様へお願い

- ◆都合により出演者に変更がある場合がございますので、あらかじめご了承ください。
- ◆許可なき写真撮影・録音・録画はお断りいたします。
- ◆上演中は、携帯電話など音や光を発する機器の電源はお切りください。
- ◆見所(客席でのご飲食は)遠慮ください。
- ◆東隣に有料駐車場がございます。満車の際は岡崎公園市営地下駐車場等をご利用ください。

【表紙写真】

（誓願寺）青木道喜

金の星渡辺写真場撮影

次回予告

京都観世会四月例会

令和7年4月27日(日) 午前11時開演

（能）女郎花 深野 貴彦
（能）察化 茂山 逸平
（狂言）班女 田茂井廣道
（能）鶴 味方 玄
白頭

【お知らせ】
今後の状況の変化により、当日券販売の有無や催し物の内容等が変更となる場合がございます。あらかじめご了承ください。
「字幕解説サービス」専用端末は千円(税込)にて貸出いたします。